

会計名			美術館リニューアル検討事業				担当部		市民活動部	
一般会計							担当課		美術館	
款	項	目					担当係		美術館	
10	5	7								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化・観光交流							
		施策の内容	文化芸術による魅力づくり							
	目的	美術館活動を発展・継続するため、開館から40年以上経過し老朽化した施設や設備のリニューアルに向けた検討を行う。					主たる内容	〇リニューアル基本計画の策定		
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令	博物館法							
		対象者	対象者を限定せず				事業期間	令和7年度～令和7年度		
	実施方法	☐ 直営 ☒ 委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他								
BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画			
					・基本計画策定		※美術館整備事業に移行			
	成果		美術館が目指す姿を示すことができ、また広く周知することができた。							
	課題		新・美術館が開館するまでの間、現在の美術館設備の修繕等を計画的に行うことが課題である。							
	指標名称（単位）				実績値			目標値		
					5年度	6年度	7年度	8年度	10年度	
	活動指標	リニューアル検討委員会の開催（回）				—	—	3	—	—
	活動指標									
	他市との比較検証		近隣市に同様の事例がないため、比較が難しい。							
	C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
事業費 ①		0	0	4,895	0	合計 4,895,000 円				
財源		特定財源	0	0	2,447	0	委託料 4,895,000 円			
		一般財源	0	0	2,448	0				
職員人件費 ②		0	0	2,481	0					
総事業費（①＋②）		0	0	7,376	0					
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称				
		7年度までの累積事業費		0		新しい地方経済・生活環境創成交付金				
		9年度以降の事業費見込		0						

会計名			美術館リニューアル検討事業	担当部	市民活動部	
一般会計				担当課	美術館	
款	項	目		担当係	美術館	
10	5	7				
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由	
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	高い	開館から40年以上経過し、施設や設備の老朽化が著しく美術品の収集・展示保管等に適した環境が整備されていないため、必要性が高い事業である。	
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	普通	市単独で行うと調査・計画等で膨大なコストがかかるが、入札を行うことにより、コストの削減また、外部委員の選任を行っており、必要最低限の経費で実施している。	
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	高い	美術館の今後の方向性は作品を扱う学芸員の経験等が必要となることから、市が主体となるのが妥当である。	
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	普通	リニューアルの基本計画をまとめることができ、またホームページなどにより広く市民へ周知をすることができた。	
	今後の方向性		☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止			

会計名			レオ・レオーニと仲間たち展開催事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	美術館		
款	項	目					担当係	美術館		
10	5	7								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化・観光交流							
		施策の内容	文化芸術による魅力づくり							
	目的	絵本作家として広く愛されているレオ・レオーニの絵本とその原画から、レオーニが子どもたちへ向けたメッセージを読み解くことで、豊かな創作世界に対する理解・親しみを深める機会とし、芸術文化の高揚を図る。				主たる内容	豊かな交友関係のなかから、何人かのアーティストを取り上げ、20世紀の文化史の中でレオーニを紹介する。 会期 令和7年4月19日～6月15日（50日間） 会場 全館 入場料 一般 1,100円 学生 800円			
		位置づけ	関連計画 第2次刈谷市文化振興基本計画							
		根拠法令	博物館法							
		対象者	対象者を限定せず				事業期間	～		
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
						・ギャラリートーク 8回 ・講演会 1回 ・ワークショップ 1回 ・絵本読み聞かせ会 3回				
成果		子どもでも楽しめる展示をしたことにより、多くの来館者がより身近に芸術に触れる機会を提供できた。								
課題		多くの来館者が訪れたことにより、グッズの欠品が多くなり、会期後半に来場したお客様から欲しい商品がないといった声も多かった。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度		
成果指標		入場者数（人）		—		—	30,112	—	—	
成果指標		入場者アンケートの満足度（％）		—		—	91.0	—	—	
他市との比較検証		展示会の巡回地の会期…板橋区立美術館：令和6年11月9日～令和7年1月13日、美術館「えき」KYOTO：令和7年11月22日～12月25日、長崎県美術館：令和8年7月11日～8月30日								
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	23,803	0	合計	23,802,901 円		
	財源	特定財源	0	0	23,803	0	報酬	4,847,008 円		
		一般財源	0	0	0	0	報償費	100,000 円		
	職員人件費 ②		0	0	7,442	0	旅費	76,870 円		
	総事業費（①＋②）		0	0	31,245	0	需用費	726,037 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称		役務費	1,976,626 円	
		7年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料		委託料	5,406,360 円	
9年度以降の事業費見込		0		入場料 冊子等頒布収入		負担金、補助及び交付金	10,670,000 円			

会計名			レオ・レオーニと仲間たち展開催事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	美術館
款	項	目		担当係	美術館
10	5	7			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など		高い	博物館法で美術館が行う事業として、実物（作品）等の資料を豊富に展示することが定められており、必要性が高い事業である。
	効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など		高い	キッチンカーやギャラリートークを開催し、身近に芸術を感じられる最適な機会となった。
	妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など		普通	展覧会の企画運営は、専門的な知識を持つ学芸員の経験や手腕が必要となることから、市が主体となるのが妥当である。
	施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など		普通	展覧会関連のイベントを行うことで、気軽に鑑賞することができ、創造体験の機会を提供することができた。
	今後の方向性		□ 拡充 □ 現状維持 □ 改善・効率化 □ 縮小 □ 終期設定 □ 休止・廃止		

会計名			猫のイラストレーション展開催事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	美術館		
款	項	目					担当係	美術館		
10	5	7								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化・観光交流							
		施策の内容	文化芸術による魅力づくり							
	目的	子ども向けの雑誌や絵本などに登場してきた「猫」のイラストレーションに着目し、日本の絵本100年のあゆみをダイジェストでとりつつ、今もあらたな創作が生み出されている「猫」絵本の多様な表現世界を紹介していくことで、豊かな創作世界に対する理解・親しみを深める機会とし、芸術文化の高揚を図る。				主たる内容	画家たちが描いてきたさまざまな猫たち。その魅力を紹介する。 会期 令和7年9月13日～11月9日（50日間） 会場 全館 入場料 一般 1,100円 学生 800円			
		位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画						
			根拠法令	博物館法						
		対象者	対象者を限定せず				事業期間	～		
		実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
						・ギャラリートーク 4回 ・アーティストトーク 3回 ・夜間開館日数 1回 ・絵本朗読会 1回				
成果		作家に来てもらい講演会を行うなどすることができ、多くの来館者がより身近に芸術に触れる機会を提供できた。								
課題		多くの作家の作品を展示していたこともあり、写真撮影の可否が分かりづらい等の声もあった。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度		
成果指標		入場者数（人）		—		—	15,734	—	—	
成果指標		入場者アンケートの満足度（％）		—		—	80.6	—	—	
他市との比較検証		展覧会の巡回地の会期…東根市美術館：令和8年4月25日～6月21日、砺波市美術館：令和8年9月19日～11月8日、奥田元宋・小由女美術館：令和9年2月18日～4月13日、群馬県立館林美術館：令和9年予定								
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	39,642	0	合計	39,641,924 円		
	財源	特定財源	0	0	23,903	0	報酬	4,881,354 円		
		一般財源	0	0	15,739	0	報償費	420,000 円		
			0	0	0	0	旅費	734,910 円		
	職員人件費 ②		0	0	7,442	0	需用費	12,283,161 円		
	総事業費（①＋②）		0	0	47,084	0	役務費	1,710,122 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称		委託料	7,512,377 円	
7年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料		負担金、補助及び交付金	12,100,000 円			
9年度以降の事業費見込		0		入場料 冊子等頒布収入						

会計名			猫のイラストレーション展開催事業	担当部	市民活動部	
一般会計				担当課	美術館	
款	項	目		担当係	美術館	
10	5	7				
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由	
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	高い	博物館法で美術館が行う事業として、実物（作品）等の資料を豊富に展示することが定められており、必要性が高い事業である。	
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	高い	夜間開館やイベントを開催し、身近に芸術を感じられる最適な機会となった。	
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	普通	展覧会の企画運営は、専門的な知識を持つ学芸員の経験や手腕が必要となることから、市が主体となるのが妥当である。	
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	普通	展覧会関連のイベントを行うことで、気軽に鑑賞することができ、創造体験の機会を提供することができた。	
	今後の方向性		☐ 拡充 ☐ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止			

会計名			三浦太郎展開催事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	美術館	
款	項	目					担当係	美術館	
10	5	7							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化・観光交流						
		施策の内容	文化芸術による魅力づくり						
	目的	2004年にヨーロッパで絵本作家としてデビューした三浦太郎の、優れたデザイン感覚やアイデアあふれる展開で読者を魅了する絵本紹介していくことで、豊かな創作世界に対する理解・親しみを深める機会とし、芸術文化の高揚を図る。				主たる内容	絵本原画、新作のタブロー、初公開となる風景スケッチなども紹介する。 会期 令和8年1月31日～3月22日（43日間） 会場 全館 入場料 一般 500円 学生 300円		
		位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画					
		根拠法令	博物館法						
		対象者	対象者を限定せず		事業期間		～		
	実施方法		■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画	
						・ギャラリートーク 3回 ・トークショー 1回 ・ワークショップ 5回			
成果		作家を招き、トークショー及びワークショップを開催したことにより、多くの来館者がより身近に芸術に触れる機会を提供できた。							
課題		小企画展のため、美術館1階のみの展示となり、会場が狭いとの声があった。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度	
成果指標		入場者数（人）		—	—	15,298	—	—	
成果指標		入場者数アンケートの満足度（％）		—	—	90.3	—	—	
他市との比較検証		刈谷市独自の企画展のため、他市との比較は難しい。							
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	21,628	0	合計	21,627,850 円	
	財源	特定財源	0	0	12,735	0	報酬	1,809,200 円	
		一般財源	0	0	8,893	0	報償費	670,000 円	
			0	0	0	0	旅費	193,660 円	
	職員人件費 ②		0	0	6,615	0	需用費	9,108,059 円	
	総事業費（①＋②）		0	0	28,243	0	役務費	1,110,962 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	7年度特定財源名称		委託料	8,735,969 円	
7年度までの累積事業費		0	入場料 冊子等頒布収入 講座受講料						
9年度以降の事業費見込		0							

会計名			三浦太郎展開催事業	担当部	市民活動部	
一般会計				担当課	美術館	
款	項	目		担当係	美術館	
10	5	7				
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由	
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	高い	博物館法で美術館が行う事業として、実物（作品）等の資料を豊富に展示することが定められており、必要瀬が高い事業である。	
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	高い	トークショーなどのイベントを開催し、身近に芸術を感じられる最適な機会となった。	
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	普通	展覧会の企画運営は、専門的な知識を持つ学芸員の経験や手腕が必要となることから、市が主体となるのが妥当である。	
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	普通	展覧会関連のイベントを行うことで、気軽に鑑賞することができ、創造体験の機会を提供することができた。	
	今後の方向性		☐ 拡充 ☐ 現状維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 終期設定 ☐ 休止・廃止			

会計名			施設管理事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	美術館		
款	項	目					担当係	美術館		
10	5	7								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化・観光交流							
		施策の内容	文化芸術による魅力づくり							
	目的	美術館及び佐喜知庵の適正な維持管理を行い、施設の環境を最適に保つ。				主たる内容	光熱水費、施設修繕料、建物清掃委託料など美術館・佐喜知庵の施設管理に関する費用を支出する。			
		位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	博物館法							
	対象者	対象者を限定せず				事業期間	昭和58年度～			
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
		・施設の維持管理、展示環境の整備 ・開館日数 279日		・施設の維持管理、展示環境の整備 ・開館日数 280日		・施設の維持管理、展示環境の整備 ・開館日数 283日		・施設の維持管理、展示環境の整備 ・開館日数 275日		
成果		施設、設備等が適切に維持管理ができ、来館者に快適な環境の提供ができた。								
課題		建設後40年を経過し、建物・設備の経年劣化が目立つ。施設の適正な維持、省エネルギーの観点からも計画的な施設・設備の更新を行うことが課題である。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度		
成果指標		ギャラリーの展示室稼働率（％）				94.8	89.7	89.2	90	90
指標										
他市との比較検証		ギャラリー（貸館）の有無・展示室稼働率（％）…稲沢市荻須記念美術館：有・80.8、豊田市美術館：有・50.76、高浜市やきものの里かわら美術館：無、豊橋市美術館：有・71								
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
	事業費 ①		37,071	45,433	47,472	48,586	合計	47,472,282 円		
	財源	特定財源	2,114	2,081	2,003	2,062	需用費	21,892,420 円		
		一般財源					役務費	606,000 円		
							委託料	18,038,473 円		
	職員人件費 ②		4,604	4,380	2,894	3,386	使用料及び賃借料	4,680,389 円		
	総事業費（①＋②）		41,675	49,813	50,366	51,972	備品購入費	2,255,000 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称				
		7年度までの累積事業費		0		美術館使用料 電話料実費徴収金				
		9年度以降の事業費見込		0						

会計名			収藏品等保存管理事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	美術館		
款	項	目					担当係	美術館		
10	5	7								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化・観光交流							
		施策の内容	文化芸術による魅力づくり							
	目的	美術作品の劣化を防ぐとともに作品の修復を行うことで、美術館収藏品や借り受けた美術品の適正な保存管理を図る。				主たる内容	美術品動産保険、収藏品の修復、収蔵庫の燻蒸及び保存環境測定に関する費用を支出する。			
		位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	博物館法							
	対象者	—				事業期間	～			
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 計画V	5年度実績	収藏品の適正な保存、管理 ・寄託作品の動産保険加入 ・収蔵庫・展示室等燻蒸 ・収藏品の修復、額装 ・新収藏品と既存作品の撮影							
			6年度実績	収藏品の適正な保存、管理 ・寄託作品の動産保険加入 ・収蔵庫・展示室等環境保全 ・収藏品の修復、額装 ・新収藏品と既存作品の撮影						
7年度実績				収藏品の適正な保存、管理 ・寄託作品の動産保険加入 ・収蔵庫・展示室等環境保全 ・収藏品の修復、額装 ・新収藏品と既存作品の撮影						
				8年度計画 収藏品の適正な保存、管理 ・寄託作品の動産保険加入 ・収蔵庫・展示室等環境保全 ・収藏品の修復、額装 ・新収藏品と既存作品の撮影						
成果		収藏品の適切な保存を図ったほか、新しく収集した一部の作品等の額装や撮影を行い、展示の管理が可能な状態に整えることができた。								
課題		新たに収集した作品は状態のよいものばかりではないため、修復・額装は新収藏品を優先して行っており、対処できなかった作品は次年度以降の予算内で数点ずつ行っている。そのため修復・額装をはじめ、撮影を必要とする作品が大量に残っている状況である。								
指標名称（単位）		実績値			目標値					
					5年度	6年度	7年度	8年度	10年度	
		活動指標	修復、保存措置等をした作品数（点） （写真撮影、額装等）	515	238	424	150	150		
		活動指標	上記のうち展示や収藏品データベース等に活用した作品数（点）	295	238	424	100	100		
他市との比較検証	修復、保存措置等をした作品数（点）…稲沢市荻須記念美術館：67、豊田市美術館：50、高浜市やきものの里かわら美術館：0、豊橋市美術館：214 収藏品点数（点）…刈谷市美術館：4,256、稲沢市荻須記念美術館：304、豊田市美術館：3,764、高浜市やきものの里かわら美術館：2,537、豊橋市美術館：4,684									
C 事業コスト	単位：千円	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳				
	事業費 ①	3,277	3,312	3,290	3,249	合計	3,290,287 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	役務費	64,930 円		
		一般財源	3,277	3,312	3,290	3,249	委託料	2,829,357 円		
	職員人件費 ②	2,302	3,584	2,481	4,656	使用料及び賃借料	396,000 円			
	総事業費（①+②）	5,579	6,896	5,771	7,905					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		7年度特定財源名称					
		7年度までの累積事業費	0							
9年度以降の事業費見込		0								

会計名			業務管理事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	美術館		
款	項	目					担当係	美術館		
10	5	7								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化・観光交流							
		施策の内容	文化芸術による魅力づくり							
	目的	作品選定や審査等の、適正な業務管理を行い、刈谷市美術館が収蔵するにふさわしい美術品を収集することで、コレクションの充実を図る。				主たる内容	刈谷市美術館美術品審査委員会の開催費用を支出する。			
		位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	刈谷市美術館美術品審査委員会及び選定委員会設置要綱							
	対象者	美術品審査委員会委員、市職員			事業期間	平成4年度～				
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
		・審査委員会 1回開催 ・委員数 5人		・審査委員会 1回開催 ・委員数 5人		・審査委員会 1回開催 ・委員数 5人		・審査委員会 1回開催 ・委員数 5人		
成果		刈谷市美術品審査委員会の審議を経て、美術品収集方針に沿った優れた美術作品や、貴重な資料の収集を行うことができた。								
課題		審査委員が高齢化していることもあり、後任の委員の候補者を検討する必要がある。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度		
活動指標		審査委員会開催回数（回）			1	1	1	1	1	
活動指標		審査作品数（購入・寄贈等）（件）			172	36	63	50	50	
他市との比較検証		審査委員会開催回数（回）・審査作品数（件）…稲沢市荻須記念美術館：3・5、豊田市美術館：1・42、高浜市やきものの里かわら美術館：1・0、豊橋市美術館：2・24								
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
	事業費 ①		808	175	856	948	合計	856,110 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	54,360 円		
		一般財源	808	175	856	948	旅費	71,630 円		
	職員人件費 ②		4,987	4,778	4,134	4,656	委託料	730,120 円		
	総事業費（①＋②）		5,795	4,953	4,990	5,604				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称				
		7年度までの累積事業費		0						
9年度以降の事業費見込		0								

会計名			次期企画展開催準備事業				担当部		市民活動部		
一般会計							担当課		美術館		
款	項	目					担当係		美術館		
10	5	7									
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化								
		基本施策	歴史・文化・観光交流								
		施策の内容	文化芸術による魅力づくり								
	目的	次年度以降に開催を予定している企画展について調査研究、図録作成や広報等の準備作業を行うことで、事業の円滑な実施を図る。				主たる内容	企画展開催に係る調査研究、出品作品の選定、次年度春の企画展PR用ポスター・チラシ等の印刷、発送等の準備を行う。				
		位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画							
		根拠法令	博物館法								
	対象者	対象者を限定せず				事業期間	～				
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他									
	BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画			
		・次期企画展開催準備		・次期企画展開催準備		・次期企画展開催準備		・次期企画展開催準備			
成果		展覧会の準備・計画を行うためには、調査研究から出品作品の選定、交渉など多大な時間と予算が必要なため、開催年度前から準備作業を行うことで、展覧会の充実を図ることができた。									
課題		次年度当初に行う春の企画展のPR方法を検討する。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度			
成果指標		春季企画展時のアンケート展示内容満足度（％）		88.2	95.6	91.0	95.0	95.0			
成果指標		秋季企画展時のアンケート展示内容満足度（％）		89.7	92.3	80.6	95.0	95.0			
他市との比較検証		次年度以降の展覧会準備にかかる予算事業名及び内容…稲沢市荻須記念美術館：（特別展運営事業）旅費、豊田市美術館：（企画展調査費）旅費・消耗品費、高浜市やきものの里かわら美術館：（次期企画展開催準備事業）借用、印刷、通信費等、豊橋市美術館：（展覧会事業）看視員等報酬、講師等謝礼、旅費、印刷製本費、消耗品、委託料、負担金等									
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳			
	事業費 ①		3,598	3,951	10,996	10,918	合計	10,995,945 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	旅費	1,141,130 円			
		一般財源	3,598	3,951	10,996	10,918	需用費	4,479,866 円			
	職員人件費 ②		4,987	4,778	3,721	5,080	役務費	324,934 円			
	総事業費（①＋②）		8,585	8,729	14,717	15,998	委託料	5,039,515 円			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称		使用料及び賃借料	10,500 円		
		7年度までの累積事業費		0							
9年度以降の事業費見込		0									

会計名			一般企画展等実施事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	美術館		
款	項	目					担当係	美術館		
10	5	7								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化・観光交流							
		施策の内容	文化芸術による魅力づくり							
	目的	常設展示を行うことで、地域の人々に刈谷市美術館の収蔵作品等を紹介し、美術に対する理解・親しみを深める機会を提供する。また、呈茶事業を行うことで、気軽に茶道に親しむ機会を提供する。				主たる内容	収蔵作品を展示する常設展を、年4回程度開催する。また、一般市民向けの個人呈茶を実施する。			
		位置づけ	関連計画							
		根拠法令	博物館法							
	対象者	対象者を設定せず				事業期間	～			
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画		
		・第1期常設展「追悼：高畑郁子展」27日 ・第2期常設展「こわい絵のひみつ」32日 ・第3期常設展「Homes」41日 ・第4期常設展「PLAY BACK 2」42日 ・個人呈茶日数 100日		・第1期常設展「New Collection展」27日 ・第2期常設展「杉本健吉展」32日 ・第3期常設展「和田英作展」38日 ・第4期常設展「おしゃべりな絵？！」42日 ・個人呈茶日数 132日		・第1期常設展「へび、ときどきトカゲ」27日 ・第2期常設展「かりびの絵本コレクション 本はどこから出ているの？」34日 ・第3期常設展「New Collection展」40日 ・個人呈茶日数 160日		・第1期常設展「New Collection展」33日 ・第2期常設展「まなざしの行方愛知の近代洋画」29日 ・第3期常設展「没後10年奇想天外！井上洋介展」39日 ・個人呈茶日数 171日		
成果		常設展は、美術と個々の収蔵作品に親しんでもらえるように、ユニークなテーマを設けて3期開催し、各展ともに好評を得ることができた。								
課題		佐喜知庵の施設・設備・茶道具は、個人呈茶または貸切利用で使用されるため、日常的な消耗・劣化が著しく、また十分な修繕や買替えが定期的にできていないため、計画的に修繕・買換えの予算化を行うことが課題である。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度		
成果指標		常設展入場者数（人）			39,941	34,196	25,026	40,000	40,000	
成果指標		個人呈茶人数（人）			3,866	6,532	8,987	6,000	6,000	
他市との比較検証		常設展開催日数（日）…稲沢市荻須記念美術館：246、豊田市美術館：268、高浜市やきものの里かわら美術館：254、豊橋市美術館：291 常設展入館者数（人）…稲沢市荻須記念美術館：7,287、豊田市美術館：155,767、高浜市やきものの里かわら美術館：16,064、豊橋市美術館：49,904								
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
	事業費 ①		3,623	5,117	4,038	5,047	合計	4,037,564 円		
	財源	特定財源	1,477	975	3,235	3,572	旅費	2,380 円		
		一般財源	2,146	4,142	803	1,475	需用費	2,711,284 円		
	職員人件費 ②		5,755	5,973	4,134	4,656	役務費	326,660 円		
	総事業費（①+②）		9,378	11,090	8,172	9,703	委託料	997,240 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称				
		7年度までの累積事業費		0		冊子等頒布収入 呈茶料収入				
9年度以降の事業費見込		0								

会計名			参加・体験型美術教育普及事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	美術館		
款	項	目					担当係	美術館		
10	5	7								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化・観光交流							
		施策の内容	文化芸術による魅力づくり							
	目的	教育普及活動を行うことで、次代を担う子どもの想像力や創造力の育成を図る。				主たる内容	企画展関連のワークショップ及び夏休み・春休み期間中等の子ども向けワークショップを開催する。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画							
		根拠法令	博物館法							
		対象者	プログラムにより個別に対象年齢を設定			事業期間	～			
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
BDO 事業実績 計画V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画			
	・ワークショップ 8種10回 ・参加者数 232人		・ワークショップ 7種9回 ・参加者数 128人		・ワークショップ 6種10回 ・参加者数 449人		・ワークショップ 8種10回 ・参加者数 200人			
	成果		他機関ではできない美術館ならではの多様なプログラムを提供していることから、抽選となるワークショップも出ているなど好評を得ている。							
	課題		多様なプログラムを提供できるように、幅広いジャンルの講師の発掘とともに、プログラムの補助スタッフ（会計年度任用職員）の確保が課題である。							
	指標名称（単位）				実績値		目標値			
					5年度	6年度	7年度	8年度	10年度	
	活動指標	開催回数（回）			10	9	10	10	10	
	成果指標	参加者数（人）			232	128	449	200	200	
	他市との比較検証	ワークショップ開催数（回）・対象者…稲沢市荻須記念美術館：5・未就学児・小学生・大人、豊田市美術館：4・小学生～一般、高浜市やきものの里かわら美術館：14・0歳～大人、豊橋市美術館：4・未就学児～大人								
	C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
事業費 ①		618	615	534	963	合計 533,595 円				
財源		特定財源	28	25	21	30	報酬 48,363 円			
		一般財源	590	590	513	933	報償費 441,000 円			
職員人件費 ②		2,686	3,584	2,481	2,963	旅費 1,200 円				
総事業費（①＋②）		3,304	4,199	3,015	3,926	需用費 40,032 円				
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称		役務費 3,000 円		
		7年度までの累積事業費		0		講座受講料				
		9年度以降の事業費見込		0						

会計名			美術品等購入基金積立事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	美術館		
款	項	目					担当係	美術館		
10	5	7								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化・観光交流							
		施策の内容	文化芸術による魅力づくり							
	目的	刈谷市美術館等購入基金の運用収入金を基金へ積立てることで、基金の適切な運用を図る。				主たる内容	美術品等購入基金の利子の積立てを行う。			
		位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	刈谷市美術品等購入基金条例							
	対象者	対象者を設定せず				事業期間	～			
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 計画V	5年度実績	・運用収入金を基金に積立 744,598円							
			6年度実績	・運用収入金を基金に積立 1,901,865円						
7年度実績				・運用収入金を基金に積立 4,672,218円						
				8年度計画	・運用収入金を基金に積立 5,679,410円					
成果		美術品等購入基金の利子を積み立てることで基金の増額を図った。								
課題		経済状況の悪化に伴い預金利率が低下することがある。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度		
成果指標		運用収入金（千円）			745	1,902	4,673	5,680	—	
指標										
他市との比較検証	購入基金の有無…稲沢市荻須記念美術館：有、豊田市美術館：無、高浜市やきものの里かわら美術館：無、豊橋市美術館：有 基金額（内現金）・運用収入額（円）…稲沢市荻須記念美術館：21,000,066・57,000（予定）、豊橋市美術館：48,876,794（48,876,794）・354,591									
C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳			
	事業費 ①		745	1,902	4,672	5,680	合計	4,672,218 円		
	財源	特定財源	745	1,902	4,673	5,680	積立金	4,672,218 円		
		一般財源	0	0	△1	0				
	職員人件費 ②		767	796	827	1,270				
	総事業費（①＋②）		1,512	2,698	5,499	6,950				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	7年度特定財源名称					
		7年度までの累積事業費		0	美術品等購入基金積立金利子					
9年度以降の事業費見込		0								